

第2次北しりべし定住自立圏共生ビジョン一部改正の概要

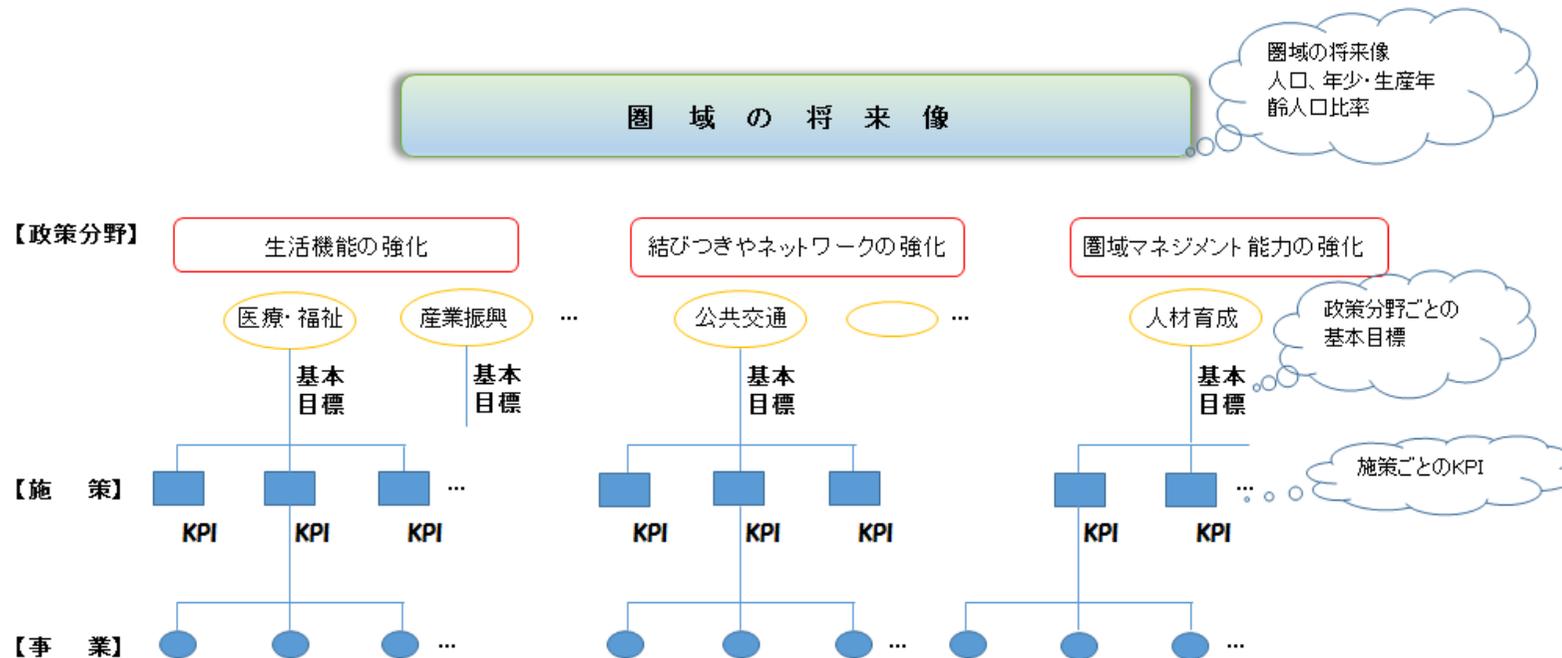
背景と目的

国（総務省）の「定住自立圏構想推進要綱」一部改正に伴い、「第2次北しりべし定住自立圏共生ビジョン」を次のとおり一部改正します。

- (1) 定住自立圏における「将来推計人口」や「中長期的な将来人口、高齢化率等の目標」の設定と共生ビジョンへの追加記載
- (2) 共生ビジョンに記載する具体的取組についての明確な「成果指標（KPI※1）」や「政策分野ごとの基本目標」の設定と共生ビジョンへの追加記載

定住自立圏の取組がより実効性のあるものとするため、共生ビジョンにおいて提示する将来像に上記（1）を、各施策ごとに上記（2）を設定・記載し、各取組の進捗管理を行うことで、共生ビジョンに基づく取組の成果を把握、検証し、次の施策に反映させるPDCAサイクル※2を構築することを目的としています。

定住自立圏共生ビジョンにおける KPI 等の設定イメージ



※1 Key Performance Indicatorの略。目標に向かって過程が適切に実行されているか計るために設定します（重要業績成果指標とも言われます）。

※2 Plan（計画）→Do（実行）→Check（評価）→Act（改善）の4段階を繰り返し、業務を継続的に改善する手法です。

一部改正の概要

以下のとおり、第2次北しりべし定住自立圏共生ビジョン（平成27年度～平成31年度）の各章に追加記載します。

1 中長期的な将来人口及び年少・生産年齢人口比率の展望【第1章（圏域の将来像）】

本ビジョン（終期：平成32年3月末）においては、下表の2020年（平成32年）の数値を目標とします。

（単位：人、％）

	2015年 （平成27年）	2020年 （平成32年）	2025年 （平成37年）	2030年 （平成42年）	2035年 （平成47年）	2040年 （平成52年）
圏域の展望人口	151,453	145,621	137,764	130,948	126,119	122,128
（参考）社人研推計	151,654	139,734	127,455	115,352	103,701	92,559
年少・生産年齢 人口比率	62.8	60.4	59.8	59.3	58.6	58.6
（参考）社人研推計	63.2	60.0	59.0	58.1	56.9	54.7

※ 「圏域の展望人口」は、2015年は国勢調査に基づく人口、それ以外は各市町村の「人口ビジョン」に掲載する将来展望人口の合計としている。

※ 「年少・生産年齢人口比率」は、「圏域の展望人口」のうち、年少人口（0～14歳）及び生産年齢人口（15～64歳）が占める割合を表している。

※ 「社人研推計」とは、平成25年3月に国立社会保障・人口問題研究所が公表した将来推計人口である。

2 政策分野ごとの基本目標 及び 具体的取組に関する KPI【第4章（定住自立圏形成協定に基づき推進する具体的取組）】

協定項目	共生ビジョンに定める具体的な取組	指標等種別	基本目標・成果指標(KPI)案	目標の方向	現状値	目標値	単位
生活機能の強化							
1 医療		←基本目標	圏域内人口10万人当たりの病院・一般診療所の①施設数、②病床数	現状維持	① 82.89	82.89	か所
	医療機関の機能分化及びネットワーク化				② 2,518.5	2,518.5	か所
	(1) 地域の実態に見合った初期救急医療体制を確保する	←施策KPI	初期救急医療体制を構成する医療機関での応需日数	現状維持	365	365	日
	1 初期救急医療体制の維持・確保事業						
	(2) 小児科及び周産期医療体制を確保する	←施策KPI	①地域周産期母子医療センター(北海道社会事業協会小樽病院)分娩再開に向けた支援 ②小児救急医療の応需日数	確保	① 分働取扱 休止中	分働取扱 再開	
	2 小児救急及び周産期医療体制支援事業				② 365	365	日
	(3) 圏域内の公立病院と公的病院を中心とした各医療機関との連携及びネットワークを促進する	←施策KPI	圏域内の公立病院と連携する医療機関数	現状維持	96	96	か所
	3 地域医療連携推進事業						
2 産業振興		←基本目標	圏域内の①販売農家・経営耕地総面積、②水産物漁獲高・出荷額、③製造品出荷額等	現状維持	① 906/3,735	900/3,700	戸数/ha
	地元農水産物及び特産品を活用した地域ブランドの開発				② 15,274/ 6,317,439	15,000/ 6,300,000	ト/千円
	地元農水産物及び特産品に関する情報を相互に提供し合い、これらを活用した地域ブランドの開発を進めるとともに、関係団体等と連携し、国内外に向けて地元農水産物及び特産品の販売戦略を展開する	←施策KPI	①展示商談会等における商談件数 ②海外展示会等参加企業数 ③アンテナショップ件数 ④小樽物産展主催件数	増加	③ 192,210	192,200	百万円
	4 安全で安心な農水産物生産支援及び活用促進事業				① 412	460	件
	5 地域ブランド販路拡大推進事業				② 7	10	社
					③ 1	1	件
					④ 1	1	件
	雇用支援及び起業の促進						
	若者の雇用支援、起業の促進に向けた支援を推進する	←施策KPI	圏域内における①高校生の圏域内就職率、②新規起業者数	増加	① 46.8	50.0	%
	6 若者の雇用支援及び起業促進事業				② 6	15	人
3 広域観光		←基本目標	圏域内の①観光入込客数、②宿泊客数	増加	① 11,941.5	16,000.0	千人
	都市型観光と自然や歴史、食文化とが融合した広域周遊観光の推進				② 1,006.0	1,200.0	千人
	(1) 圏域内での周遊性を高め、滞在時間の延長を図る	←施策KPI	(再掲)圏域内の①観光入込客数、②宿泊客数	増加	① 11,941.5	16,000.0	千人
	7 広域観光推進事業				② 1,006.0	1,200.0	千人
	(2) 道内外及び東アジア圏を始めとした諸外国に向けた観光PR戦略を展開する	←施策KPI	圏域内の外国人宿泊客数	増加	180,741	332,000	人
	8 観光客誘致対策事業						
4 教育		←基本目標	圏域内の文化・体育施設、文化財等への来場者数	増加	55,089	55,700	人
	生涯学習及び文化・スポーツ活動の活発化						
	(1) 社会教育施設などの公共施設の共同利用を推進する	←施策KPI	圏域内の文化・体育施設の利用者数	増加	2,646	2,700	人
	9 文化・スポーツ交流促進事業						
	(2) 圏域内の文化財、史跡など、多様な文化遺産を保護し、その利活用を図る	←施策KPI	圏域内の文化財・史跡等の来場者数	増加	52,453	53,000	人
	10 文化財、史跡等保全・活用事業						
5 福祉・安心な暮らし		←基本目標	成年後見センター・消費者センターの共同利用の維持継続	現状維持			
	住民が安心して暮らせる地域づくり						
	成年後見センター、消費者センター等の共同利用を推進するとともに、福祉を始めとした住民生活に関する各種相談などに対応するため、関係団体などと連携し、圏域内の住民が安心して暮らせるための地域づくりの推進を図る	←施策KPI	①「小樽・北しりべし成年後見センター」における相談件数(圏域6市町村分) ②「小樽・北しりべし消費者センター」における相談件数(圏域6市町村分)	現状維持	① 432	430	人
	11 小樽・北しりべし成年後見センター支援事業				② 866	870	人
	12 消費生活相談体制連携事業						

結びつきやネットワークの強化

1 地域公共交通	←基本目標	①広域的なバス路線の路線数(積丹線・余市線・銀山線・赤井川線) ②広域的なバス路線(積丹線・余市線・銀山線・赤井川線)の年間運行回数(合計)	現状維持	①	4	4	路線
生活路線や交通手段の維持及び確保				②	7,773	7,700	回
(1) 圏域内の公共交通の利用の促進を図る	←施策KPI	積丹線・銀山線・赤井川線の年間輸送人員(各路線合計)	現状維持		329,950	330,000	人
13 生活路線バス運行事業							
(2) 多様な交通手段の組合せにより、地域の生活環境や観光客の利便性を確保する	←施策KPI	各市町村におけるコミュニティバスの年間輸送人員(積丹町・古平町分の合計)	現状維持		25,353	25,300	人
14 多様な交通手段の維持及び検討事業							
2 情報格差の解消へ向けたICT(情報通信技術)インフラの整備	←基本目標	小樽後志地域医療連携システム(ID-Link)に登録している圏域内の医療機関数	現状維持	①	10	10	か所
地域医療の高度化及び地域医療機関の連携強化							
高度医療を担う医科大学病院と二次医療機関及び一次医療機関とのICTネットワークの構築・充実を図る	←施策KPI	(再掲)小樽後志地域医療連携システム(ID-Link)に登録している圏域内の医療機関数	現状維持	①	10	10	か所
15 地域医療連携システム推進事業							
3 道路等の交通インフラの整備	←基本目標	圏域内の高速道路や国道、道道の整備促進 ・北海道横断自動車道(余市～小樽間)の完成(平成30年度予定) ・国道5号(忍路防災・塩谷防災・栄町中央帯整備(フコックトンネル))の整備促進 ・その他、圏域内の国道の安全対策・道道の新設等に係る整備促進、など	現状維持				
効率的な道路交通ネットワークの形成							
駅や港、高速道路、国道などの基幹交通と連結する道路網の形成に向けた取組を推進する	←施策KPI	札幌自動車道の通行量	増加		51,780	55,000	台/日
16 地域交通基盤整備推進事業							
4 生産者と消費者との連携による地産地消	←基本目標	地元農水産物の魅力発信等を目的としたイベントの来場者数(圏域内合計)	増加		38,000	50,000	人
新鮮で安全な地元農水産物の圏域内消費							
地元農水産物を安心して消費できる体制を整え、新鮮さ、おいしさ及び安全性をPRする	←施策KPI	(再掲)地元農水産物の魅力発信等を目的としたイベントの来場者数(圏域内合計)	増加		38,000	50,000	人
17 地元農水産物魅力度アップ事業							
5 圏域内外の住民との交流及び移住	←基本目標	①圏域内人口の社会増減数(転入-転出) ②(再掲)圏域内の観光入込客数	増加	①	△ 933	△ 880	人
圏域の魅力の発信による移住及び長期居住の促進				②	11,841.5	16,000.0	千人
首都圏を中心に圏域における暮らしの情報を発信するとともに、居住や長期滞在などの希望に対応できる体制をつくる	←施策KPI	圏域各市町村の移住担当窓口で把握した移住者数	増加		16	62	人
18 移住・交流促進事業							
圏域における情報共有・情報提供の充実							
圏域内の各市町村が持つ行政情報等を共有し、住民に積極的に提供する仕組みをつくる	←施策KPI	圏域各市町村における圏域情報提供箇所数	増加		1	6	か所
19 圏域における情報共有・情報提供推進事業							
圏域マネジメント能力の強化							
1 人材の育成	←基本目標	中心市が実施する各種講座やセミナー等の地域人材育成事業への参加者数	増加		38	46	人
地域をけん引する人材の育成及び確保							
圏域全体の事業の円滑化を図るため、人材を育成するとともに、専門的知識や広い見識を有する人材を確保する	←施策KPI	(再掲)中心市が実施する各種講座やセミナー等の地域人材育成事業への参加者数	増加		38	46	人
20 地域人材育成事業							
21 魅力ある圏域づくり推進事業							
2 圏域内市町村職員間における情報交換や意見交換の場の積極的活用	←基本目標	圏域内の行政課題解決に向けた意見交換・協議等に係る会議の設置数	増加		0	12	件
情報交換・意見交換の場の活用							
職員間の情報交換や意見交換の場を積極的に設け活用する	←施策KPI	(再掲)圏域内の行政課題解決に向けた意見交換・協議等に係る会議の設置数	増加		0	12	件
22 圏域職員間の情報交換等強化事業							